

令和6年度第3回子育てサポータースキルアップ講座 開催概要

日 時: 令和7年1月21日(火)午後1時から同4時20分まで

場 所: 京都府田辺総合庁舎保健所棟 講堂

参加者: 子育て支援関係者、幼稚園・保育所(園)職員、小・中学校教職員
教育委員会家庭教育担当者 等

【基調講演】「こどもまんなか社会」はどう実現すればいいのか？

講師 やましろ未来っ子はぐみネットワーク推進協議会長 森川 知史

【パネルディスカッション】

やましろ未来っ子はぐみネットワーク推進協議会員

【ラウンドテーブル】

地域の子育て支援や家庭教育支援に携わっている方約30名の参加がありました。基調講演では、「こどもまんなか社会」の実現のために、教育・福祉・地域・政策の全分野で子どもの視点を最優先に、子どもの成長を支援する社会意識を共有することや社会全体で子どもを育む環境を作っていくことが必要であることなどを学びました。またパネルディスカッションやラウンドテーブルでは、活発に意見や取組などを交流し、学びを深める機会となりました。

【感想】(基調講演・パネルディスカッション)

- ・「こどもまんなか社会」はすぐには作ることができなくても、意識を持ってできることから進んでいくことが大切だと思いました。
- ・「こどもまんなか社会」の意味を正しくみんなで共有し、一つの方向に向かっていきたいと思いました。
- ・「こどもまんなか社会」の実現のために、自分自身に何ができるかを考えるきっかけになりました。
- ・子どもの意見を吸い上げていく機会を作りたいです。
- ・子どもの意見に耳を傾け、今後につなげていくことが大切だと思いました。
- ・「こどもまんなか社会」の実現に向け、明るい未来につながっていくとよいと思いました。



【感想】(ラウンドテーブル)

- ・様々な職種の方々と交流し、多様な視点での御意見を聞くことができました。
- ・地域の行事を盛り上げて、子どもの主体性を育むことにつなげていきたいと思いました。
- ・子どもを中心にした地域の活動が行われるように、大人の意識も変えていくことが必要だと思いました。
- ・「こどもまんなか社会」のために考え方を転換するときに来ていると感じました。